



カウンセリングということ

就職課 石川共平

ある日、図書館で「河合隼雄のカウンセリング講話」という本を見つけました。

河合隼雄とは文化庁長官も務めた、カウンセリング界の草分けで権威ある人です。

私は“権威”が嫌いです。ですから、関心はあって彼の何冊かの書籍も読みましたが、ずっと避けてきました。カウンセリング界には“権威嫌い”が結構いて、以前はカウンセリングに関する国家資格もなく、私も「カウンセリングに国家資格など必要ない」といっている学会に所属し、ときどき顔を出していました。とはいっても「嫌だ。嫌だ」だけでは進歩もないと思い、不本意ながら5年前に制定された国家試験に挑戦し昨年、幸いにも資格取得しました。

そこで出会ったのがこの本でした。

この本の第2章に「カウンセリングと芸術」という章があります。以前、再就職支援会社に勤務していたとき、先輩から「カウンセリングは芸術だ」と言われたことがあります。当時はその意味がよくわかりませんでした。しかしこの本を読んで「ああ、これだったんだ」と理解できました。

河合先生は、“個性を持った芸術家が表現した芸術がそれぞれ違うように、カウンセリングも一人ひとり違うクライアントが、一人ひとり違うカウンセラーに出会うわけだから、マニュアルどおりにはいかず、当然対応も一人ひとり違う。但しルールや技術も大切であり、カウンセラーはクライアントの表面的な様子ではなく、心の奥底の『X』を視野に入れたカウンセリングをしていくことが大事”と言っているのではないかと理解しました。これで納得。

私たちは日々、悩める学生と会っています。特に人生最大のイベントである就職活動を控えた学生たちは真剣です。時にはノウハウを求めてくる学生もいます。そんな学生と何回か会い、信頼構築ができてくると、学生の本当の気持ち=Xが見えてくる場合があります。そのXの深さ、広さはみんな夫々です。そんなXに触れつつ、一緒に就職活動について考えていきます。それは一人ひとり違うのです。そこはマニュアルだとかノウハウとかいうこととは別世界です。まさに“芸術”の領域なのです。

私も前期高齢者の域に入り、無限の可能性を秘めた若者たちを日々羨ましく思っている毎日ですが、今まで極められなかった芸術にも、またカウンセリングの奥深さにも少しでも近づけられたら、と思っています。

河合先生が単なる権威者ではなかったこともわかりました。

(※)『河合隼雄のカウンセリング講話』は開架図書3階：146.8//Ka93に配架されています

3月の開館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

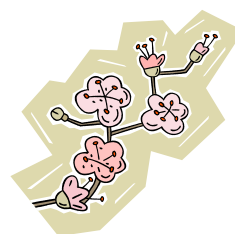
図書館開館時間

□=9:00~21:00

■=9:00~19:00

■=9:00~17:00

■=休館日です



学生参加イベント

◇図書館事務室内の特設本棚から自由に本を選書できるイベント・学生選書を前期・後期の2回に分けて開催しました(5/27~6/8, 10/21~11/1)。



◇図書館主催講演会「岩波書店現役編集者が語る 編集の仕事：本が生まれるまで」(11/21, 12/18)と連動して、「岩波書店がお勧めする本100選」の選書も開催。「本を読みたくなる講演だった」など感想とともに30冊の本が選ばれました。

就活支援上映会

◇就職課共催図書館上映会「就職活動のすべて」(6/3~6/14)、「はじめよう就職活動！」(10/21~10/25)を開催しました。

◇現代政策学部・大園陽子先生の授業と図書館との共催で、人気ドラマを使った「就活を考える上映会」を行いました(1/16, 17)。上映会後は就活に使える図書館資料やデータベースを紹介し、グループによるディスカッションも実施。参加者からは「就職活動をドラマという客観的な視点で見ることで、就活の意味を改めて考えることができた」と好評でした。

学生アドバイザー

◇アンケートを実施し、アドバイザーの認知度や要望などを調査しました。

◇第15回図書館総合展のポスターセッションに出展し、活動報告と将来の図書館像についての発表を行いました(10/29~31)。



◇アドバイザーの活動について秘書サービス接遇教育学会より取材を受けました。『ヒューマンスキル教育研究』に掲載予定です。

ビブリオバトル

◇学生主導で「ビブリオバトル首都決戦予選会 in 城西」を図書館で開催(9/25)。さらに高麗祭でもビブリオバトルを開催しました(11/3)。



予選を勝ち抜いた学生は「ビブリオバトル首都決戦2013地区決戦」(11/10)にも参加しています。

地域貢献/公開講座

◇坂戸市立図書館・城西大学水田記念図書館共催 図書館活用講座を開催しました(10/10)。

◇鶴ヶ島市立中央図書館第26回図書館まつり(9/28, 29)と坂戸市立図書館「本とともにだち2ウィークス」(10/27~11/10)にて当館資料の特別展示をしました。

◇埼玉県図書館協会等主催による「図書館と県民のつどい埼玉2013」に参加し、「Cool Japan 浮世絵の魅力 外国人から見た日本の美」と題して外国で出版された浮世絵関連資料、水田コレクション復刻版を展示しました。また同時開催した浮世絵の刷り体験も好評でした(12/1)。

◇3月15日に平成25年度地域総合協力図書館合同主催公開講座「暮らしに役立つ経済・経営」(講師：経営学部教授 張 紀尋先生)を開催します。

◇3月26日に平成25年度地域相互協力図書館 合同研修会「図書館ボランティアについて」を開催します。

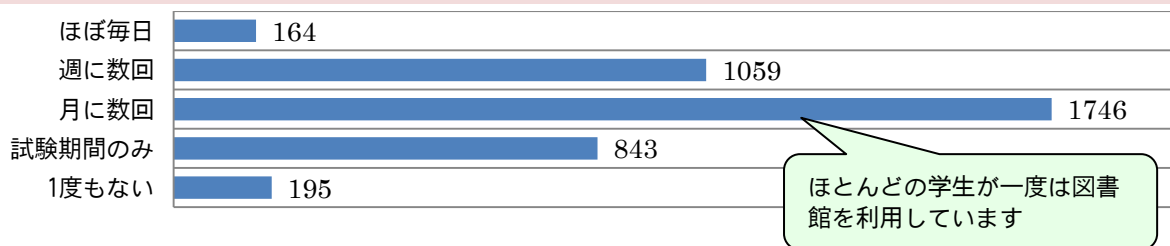
全学対象アンケート集計結果

全学アンケートへの協力ありがとうございました。多数の回答のなかから一部を紹介します。
 なお、すべての集計結果は後日図書館ホームページにて公開します。

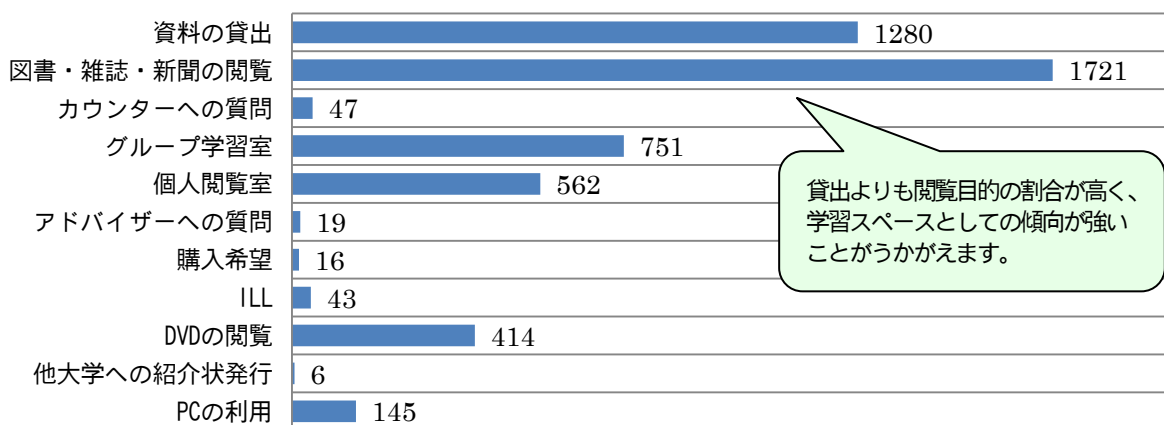
学部別回答数

経済	大学院経済	現代政策	経営	大学院経営	薬学	大学院薬学
750	8	421	753	21	1059	66
薬科学	医療栄養	化学	数学	別科	短大	総計
368	383	282	222	8	19	4360

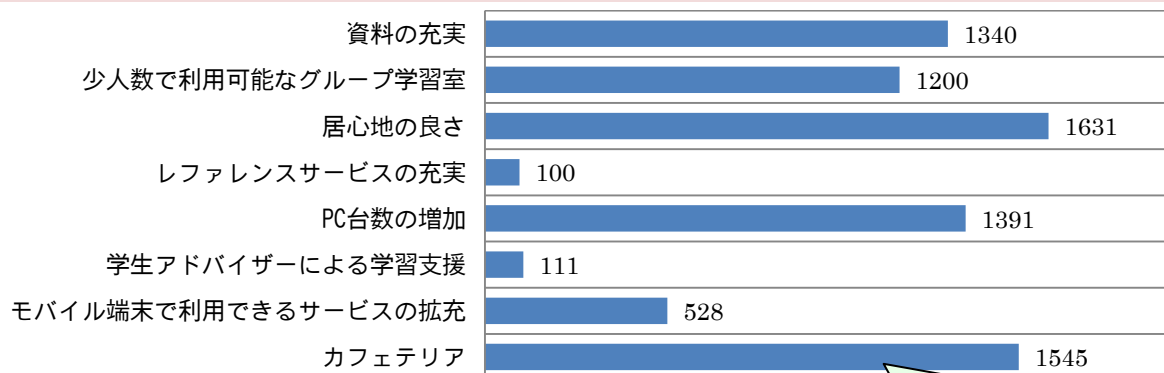
図書館にどれぐらいの頻度で来館されますか



図書館を利用する主な目的は何ですか



これからの図書館に必要なものは何だと思いますか



要望は「居心地の良さ」がトップでしたが、次点として「カフェテリア」が挙げられており、滞在場所としての図書館の要望が高まっているとみられます。

研究室訪問

図書館では利用者の役に立つ図書館、使いやすい図書館を目指し、様々な活動をすすめています。研究室訪問は学生の更なる利用促進を目的に、2014年2月より実施しています。

第一回目は経営学部の柳下正和先生と薬学部の近藤誠一先生・一色恭徳先生の研究室を訪問しました。先生方からは「ガイダンスを受けた後に授業の中でアクションを起こさせることが重要」「薬学科の場合は卒業研究が始まる4年次にガイダンスを行うと効果的では」といった具体的なご意見・ご感想をいただきました。これを受け、薬学科4年次向けガイダンスの実施に向けて検討中です。また、選書やJURA（城西大学機関リポジトリ）への登録についてもご要望を伺うことができました。

今後も全学部の先生方を対象に、順次訪問させていただく予定です。
ぜひ先生方のお声をお聞かせください。ご協力をお願いいたします。

卒業年次生の方へ

☆卒業年次生の返却日は**3月7日**までです。

間に合わない場合は郵送での返却も受け付けています。

☆卒業後も図書館を利用できます。

・カウンターで受付をすれば入館・閲覧は自由です。・同窓会会員証(卒業時に配布)があれば利用者カードを作成できます。



図書館彙報

講習会・公開講座のお知らせ

■公開講座「暮らしに役立つ身近な経済・経営」 講師：張 紀濤先生（本学経営学部教授）

日時 2014年3月15日（土） 図書館9階 13:00～15:00

申込先 図書館カウンターもしくはTEL049-271-7736

※2月に大雪のため中止した内容を、会場を城西大学へ変更して行います。

■薬学部向け「SciFinder 利用講習会」

日時 2014年3月12日（水） 18号館103室 14:00～15:30

申込先 図書館カウンターまたはメール：library1@josai.ac.jp.まで

■2月7日 第5回 SPARC Japan セミナー2013に参加しました。

■2月20日 EndNote 講習会を行いました。なお、講習会で利用した資料がありますので、ご希望の方は図書館カウンターまで。

■2月24日 日本薬学図書館協議会関東地区協議会・平成25年度第3回協力館会議に出席しました。

■2月26日 平成25年度大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）総会に出席しました。